

# 社会福祉法人ありのまま舎



- 本社所在地 宮城県仙台市太白区西多賀 4 丁目 19-1
- 主な事業内容 社会福祉・介護事業  
(障害福祉サービス事業所等運営)
- 従業員数 115 人



 **健康経営優良法人認定**  
2019～2023 認定 (2020～大規模法人部門)

## 健康経営に取り組むきっかけ

重度の障害者や難病の方が利用している当施設にとって、働いている職員も健康であることは何よりも重要なことです。今般のコロナウイルスが発生する以前から、手洗いやうがいの励行など、職員の衛生管理や健康管理を徹底するようにしており、一般的な病気だけでなく感染症の予防にも努めてきました。協会けんぽから健康経営への取組の案内をいただいたことをきっかけに企業のイメージアップを図りたいと考え、健康経営に取り組みました。



各種認定証

## 注力している取り組み

コロナ抗原検査キットを配布し、定期的に検査を行い、ウイルスに感染した職員には出勤を控えるなど、しっかりとした管理を実施しています。また、流行以前から体調確認と検温を実施し、出勤時のチェックシートとともに記録も残しています。

希望の職員には胃カメラや婦人科検診を事業所負担で実施しています。また、職員とその家族がインフルエンザワクチンを接種する際には、併設する診療所を利用することで、費用の半額を負担しています。

離職率や怪我、事故を減らすための取り組みとして、ロボットスーツを導入しています。これは電気を使わずに人工筋肉で動作を補助するマッスルスーツで、介護業務の負担を軽減することができます。さらに、業務に必要な介護リフトなどの導入や施設内での業務の連携強化と効率化を図るためインカムの導入など、業務の改善を図っています。(インカムとは、ヘッドフォンとマイクが一体化した無線通信機器)



感染症対策 社内掲示



感染症対策

## 取り組みの課題

慢性的な人材不足は、どこの福祉介護事業所でも抱えている課題だと思っています。健康経営優良法人の認定を受けることで事業所イメージのアップを図り、人材確保にも繋がりたいと思っていますが、もう少し外部に向けてPRしたいと考えています。職員の定着率については、惜しまれながら退職するような離職案件が徐々になくなってきています。

## 取り組みの効果

毎月、法人内の会議を開催し、課題や情報の共有、人材確保、健康対策などについてのミーティングを続けています。併設する診療所では定期的に会報を発行し、病気や感染症・健康に関する記事を掲載して啓発に努めています。また、朝のミーティングではストレッチを行っております。



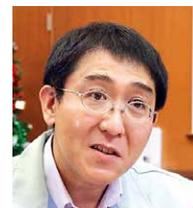
会報

健康診断の結果は協会けんぽからの「事業所カルテ」で確認しています。メタボリックシンドローム予備群の割合が徐々に減少し、特定保健指導の該当者も減少するなど、状況は改善してきています。

障害者支援施設では、栄養管理された食事を希望する職員に提供しているほか、理学療法士などが腰痛や肩こりなどを訴えている職員のサポートもしています。また、看護師、作業療法士、理学療法士、管理栄養士など、健康管理に欠かせない職種の人材が揃っており、常勤ではありませんが医師も在籍していますので、チームワークで入居者の健康管理だけでなく健康的な職場づくりを行っています。

## 今後の展望をお聞きしました！

健康経営の取組は継続していきます。課題を結果へとつなげ、取組を対外的に発信していきたいと思っています。ハローワークでの求人票にも健康経営優良法人の認定を表示しています。働きやすい職場作りは課題でありますので、職員からのフィードバックをもらいながら出来るところを改善していきたいと考えています。



法人本部事務局次長  
嶺岸 智 氏